

|| 企業調査レポート ||

ソフトクリエイイトホールディングス

3371 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2017 年 6 月 23 日 (金)

執筆：客員アナリスト

水野文也

FISCO Ltd. Analyst **Fumiya Mizuno**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

2017年3月期は売上高、経常利益がいずれも過去最高を計上

ソフトクリエイイトホールディングス<3371>は、システムインテグレーション事業、クラウドインテグレーション事業を中心に展開してきた。インフラの構築、SaaS、PaaS、IaaSの各種クラウドサービスの提供、さらには、その後のサポートなどきめ細かに対応し、併せてハードウェアやソフトウェアを販売するなど、顧客のIT基盤を全面的にサポートしている。

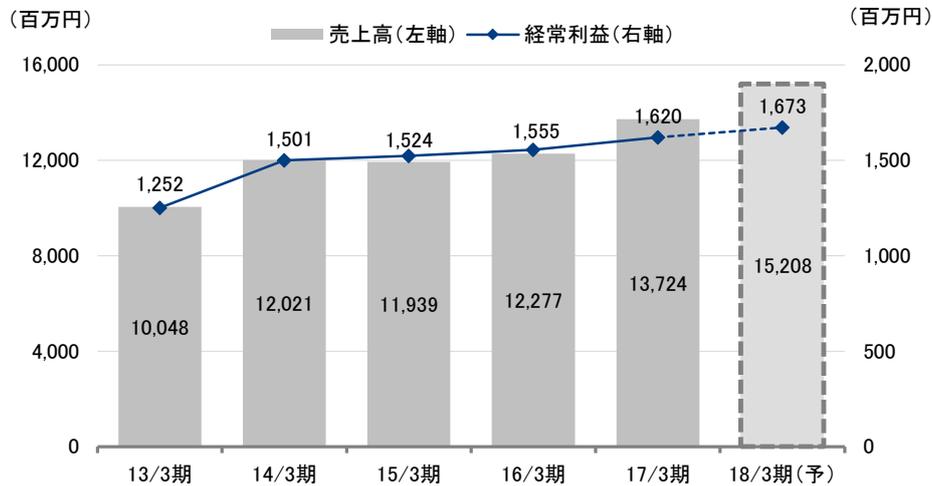
IT業界は、ネット通販の拡大、ネット広告の需要増加など市場規模は依然として広がる方向にあるほか、クラウドサービスなど企業のIT投資意欲の高まりを背景に、今後もビジネスチャンスの拡大余地は大きいとみられる。また、情報漏えいなどセキュリティに対する継続的な対策の必要性が年々高まっており、企業のIT投資はより活発化していくものと思われ、同社を取り巻く環境は明るさを増す方向だ。

2017年3月期は、売上高が前年比11.8%増の13,724百万円、経常利益が同4.1%増の1,620百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が同0.7%減の1,010百万円となった。売上高、経常利益はいずれも過去最高を計上するなど、業績面は好調に推移している。

セグメント利益をみると、主力であるECソリューション事業は、マーケットであるEC市場、インターネット広告市場の拡大に伴うネット通販サイトの構築需要やネット広告の需要の広がりなどを背景に、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の売上高が伸長し、セグメント利益は1,368百万円（前年比1.2%増）と手堅く増益を確保した。一方、システムインテグレーション事業も、ワークフロー「X-point」の売上高の伸びが貢献したほか、ネットワーク構築、独自サービスである「SCクラウド」の売上高などが伸びたことでセグメント利益は864百万円（同17.8%増）と2ケタ増の伸びを示した。ソフトウェア製品の販売の好調さや、クラウドサービスの拡大の順調さを見ると、競争は激化しているものの、ニーズに沿ったプロダクトやサービスにより、業容を順調に拡大させていることが伺える。物品販売事業を含めた、3つのセグメントすべてが増益となった。

Key Points

- ・ 2017年3月期は売上高、経常利益がいずれも過去最高を計上
- ・ 2018年3月期も前期に続いて創業来連続最高益更新を予想
- ・ システムインテグレーション事業が先行き収益に貢献する見込み

業績推移


出所：決算短信よりフィスコ作成

■ 当面の展望・課題

2018年3月期も前期に続いて創業来連続最高益更新を予想

2018年3月期業績見通しは、売上高が前年比10.8%増の15,208百万円、経常利益が同3.3%増の1,673百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同1.9%増の1,029百万円を想定。前期に続いて創業来連続最高益更新を予想している。年間配当金は2017年3月期に続いて20円とする方針。安定的に配当を出す状況に変わりはない。

2018年3月期は、引き続きインターネット広告の需要拡大、クラウドサービス市場の伸長、さらにはセキュリティーへの関心の高まりから、いずれの事業も上向く計画だ。広告宣伝費、人件費などコスト増を見込みながらも、売り上げ増でこれらを吸収する。

2018年3月期は、売上高に対して、利益の伸びが鈍るが、これは、製品機能を充実するための費用増加のほか、知名度向上を図るための広告宣伝費のアップ、さらに、積極的な人材採用による人件費の増加などのコスト増が利益を圧迫するため。ただ、これらコストの上昇は、スケールアップによって十分吸収できるレベルにあり、連続最高益更新を予想していることから、懸念はないと言える。

当面、いかに売上高を伸ばすかが課題になってくるが、主力のECソリューション事業は、EC市場、ネット広告市場が今後も拡大するとみられ、ネット通販サイトの構築ビジネスや広告の増加が見込まれている。また、システムインテグレーション事業も、企業のクラウド投資やセキュリティーIT投資の活発化が期待されるなど、売上全体のスケールアップが期待できる状況だ。

セグメント別に詳しくみると、ECソリューション事業では、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、SEO対策、プロモーション等の付加価値サービスなど、トータル的なECソリューションを顧客に提供している。この分野は会社側でも戦略的な事業分野として位置付けており、引き続き“稼ぎ頭”としてけん引することになろう。事業拡大のためには人材が不可欠で、IT技術者のリクルーティング、開発スキルの向上が今後の課題となろう。

システムインテグレーション事業は、同社グループが開発した3つのソフトウェアプロダクト（「X-point」「AgileWorks」「L2Blocker」）の販売、ネットワーク構築を提供している。最近では、企業の相次ぐ情報漏えいの影響によりセキュリティ投資意欲の高まりから、不正接続PC検知・排除システム「L2Blocker」のニーズが高まっている。これが先行き収益に貢献して行きそうだ。

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ